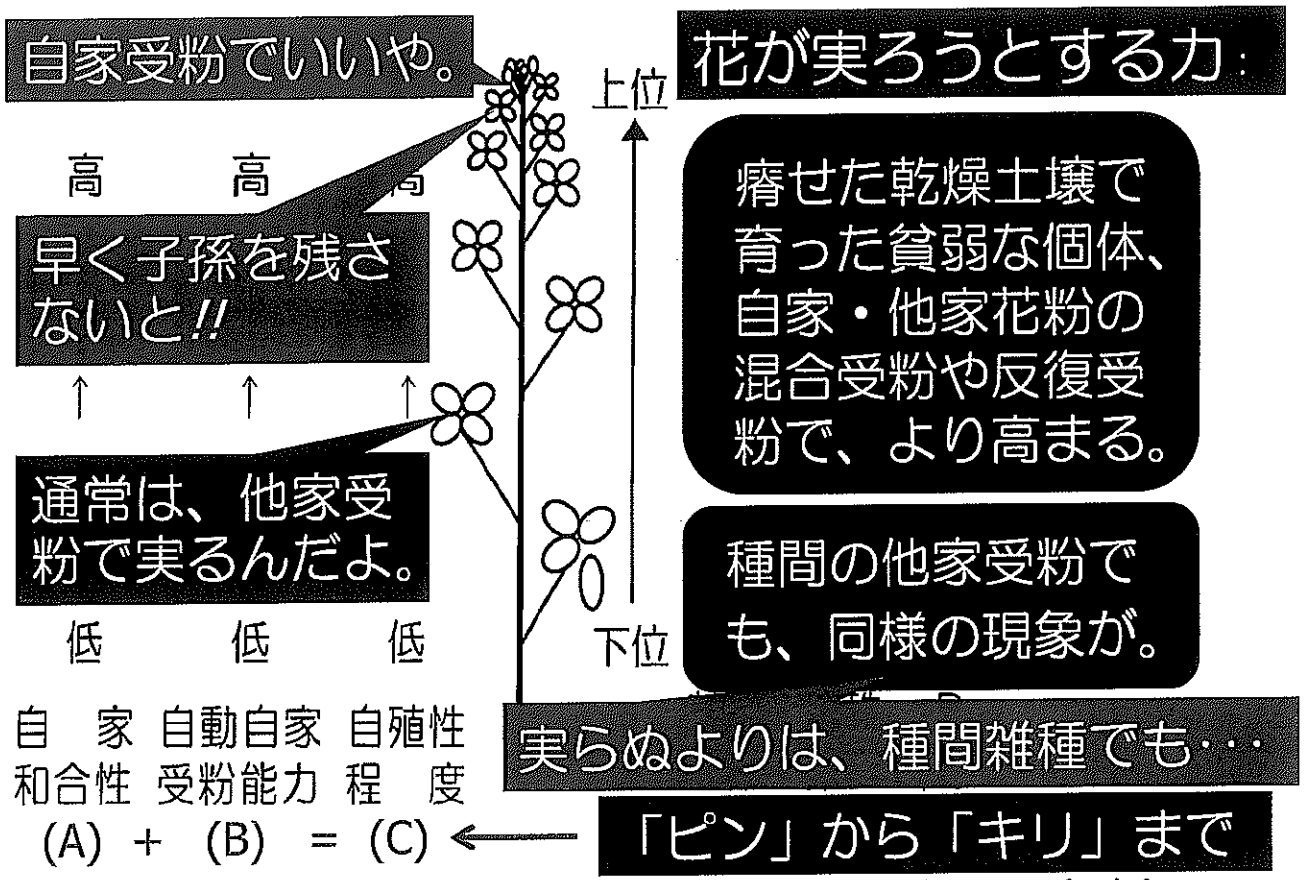
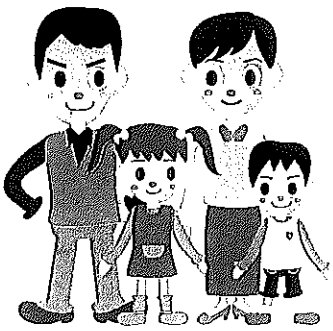
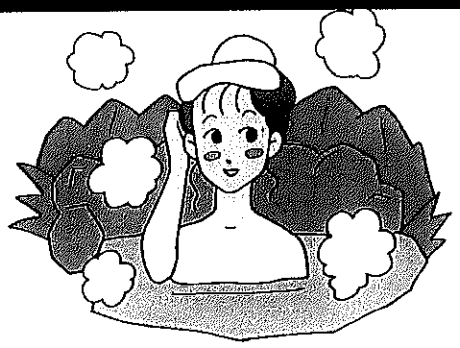


図　生殖様式の遺伝的多様性と可変性
他殖性が基本のカブ・ハクサイ類やダイコン

★「あご･ほっぺ理論」―― 生命現象を考える際の基本（生井 1998, 2001, 2002）

- 院生たちの個性的で表情豊かな顔：連続的で境目なく形状が刻々変わる「あご」(ピン)と「ほっぺ」(キリ)。
- 生命の多様性：多様で動的な顔になぞらえ「あご・ほっぺ理論」と命名。





おわりに――進化論に根差す生き物の根源的な特性：動的平衡と「あご・ほっぺ理論」（まとめ）

●ヒトも自然の一部。進化の過程で動的平衡関係にある。遺伝的多様性と可変性に富み諸々の環境要因に適応できるが、限界も。

動的平衡関係の一部にでも、遺伝子組換え（GM）技術で遺伝子操作を加えたり、原発から人工放射性物質を放出させれば、自然から手痛い「しっぺ返し」が。

生命への機械論的対応は、大きな誤り。

しかし、政府は

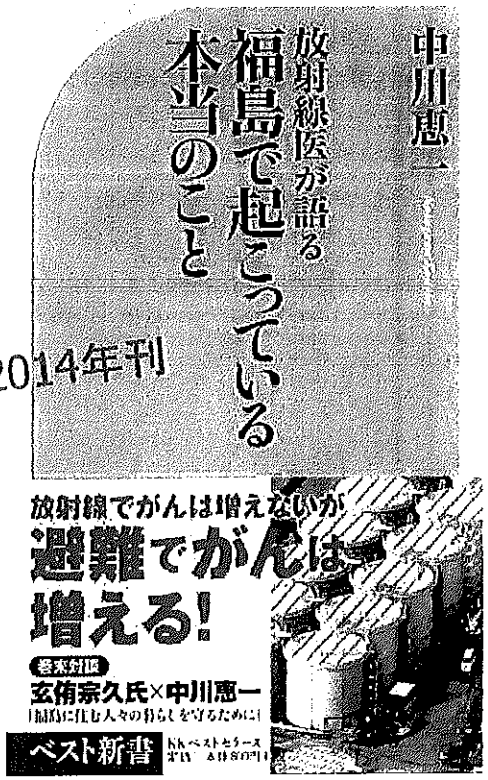
ICRP（国際放射線防護委員会）的な非科学的な嘘だらけ

二〇一四年二月、文科省が、小学生用、中・高校生用の『新しい放射線副読本』

2014年８月17日、復興庁、内閣府、外務省、環境省の4省庁は、３大全国紙などに政府広報「放射線についての正しい知識を。」を全面広告。

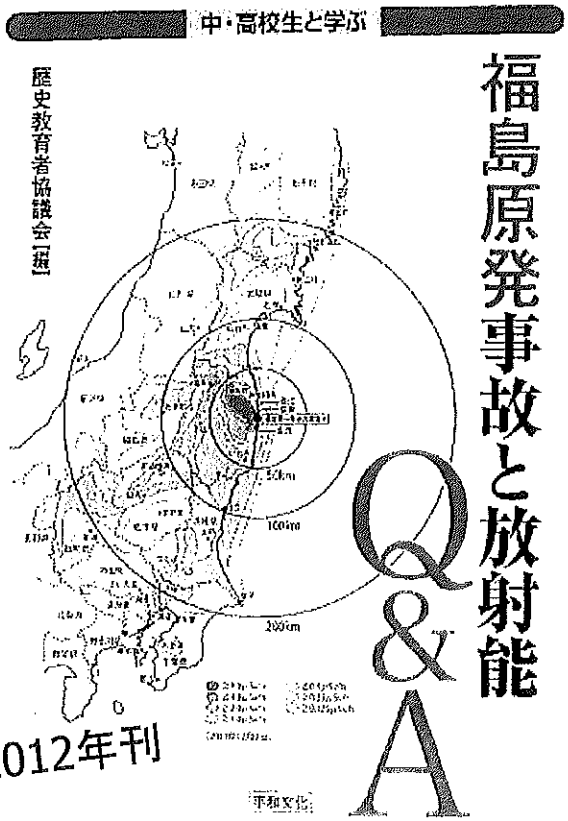
●日本政府と御用学者の嘘を暴こう!!

ICRP（国際放射線防護委員会）的な嘘だらけ

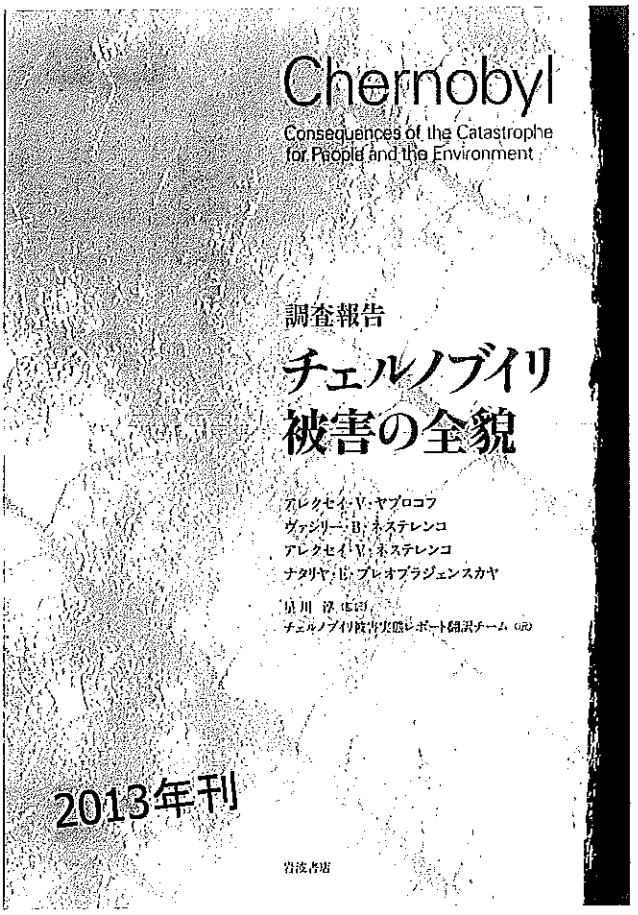


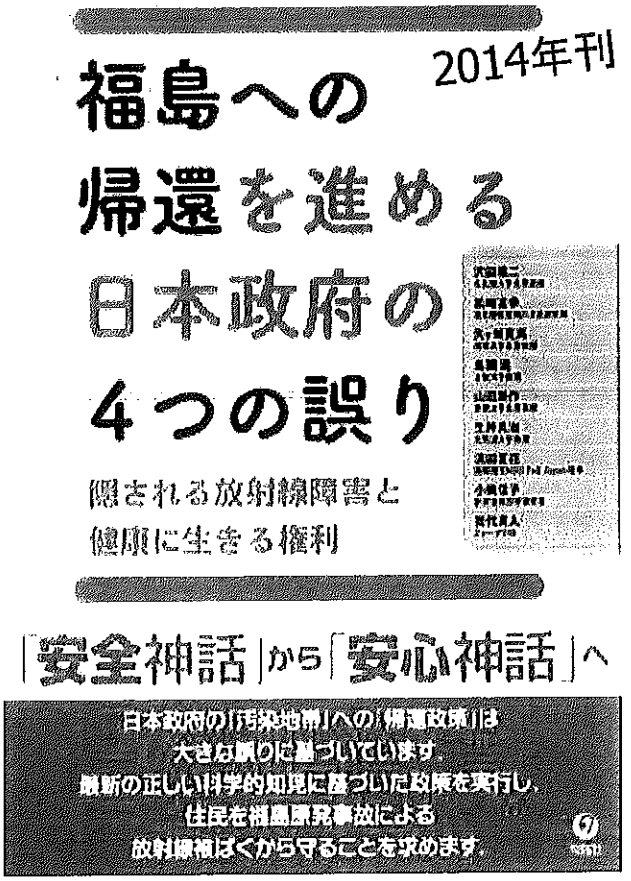
●子どもを守らない国に未来は無いのだ!!

第2次集団疎開裁判「子ども脱被ばく裁判」始まる!!



●放射線内部被曝の真実を広めよう!!



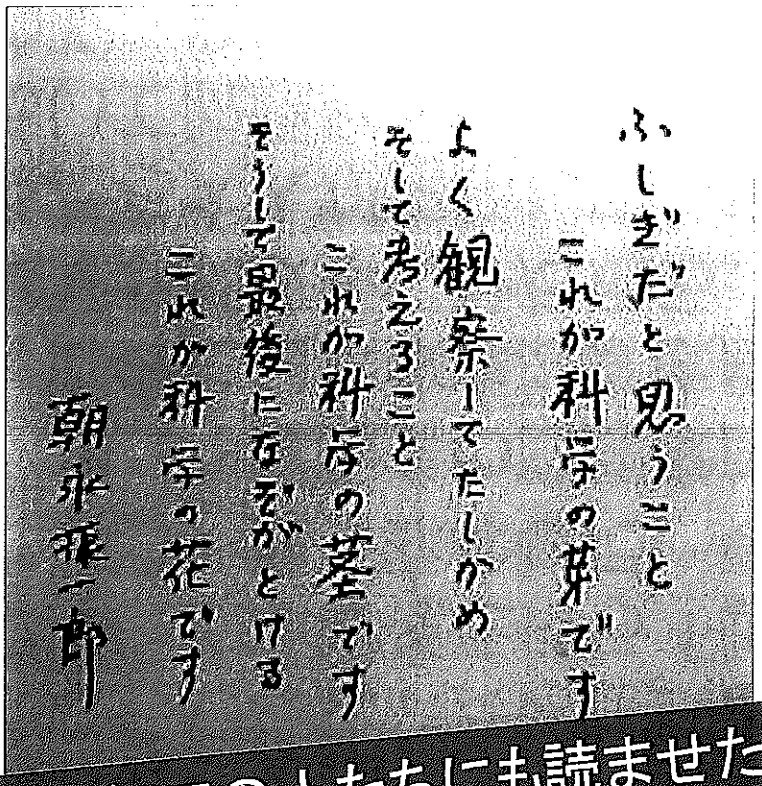


財界・政府と「斯界の専門家」はまったく反省せず再稼働を目論む。子どもたちを放射能汚染から守らない安倍晋三首相が、解釈改憲で集団的自衛権を持ち「国民の命を守る」と言う。真っ赤な嘘だ。専制だ。

しかも、2014年は国連の国際家族農業年でしたが、財界と自公政権は家族農業と農協を潰す農業規制改革にひた走る。

今こそ私たち大人が奮起して、権利と義務の名において脱原発・核兵器廃絶と護憲を心に込めて、自然と農と食と子どもを守る「人格権」運動を強めましょう。

●「斯界の専門家」に読ませたい色紙!!



政・官・財・メディアの人たちにも読ませたい!!

1974年書；京都市青少年科学センター所蔵

人工核種による低線量内部被曝リスクを訴えよう!

完